

全体として、順調。各種投稿、理事各位の弓道石川製本、常任理事会各位の各種チェック等に感謝。

1、「弓道石川」の発行(100%完了)

計 画	実 施	記 事 (昨年)
第92号 5月頃発行	5月12日発行、5月17日配布	20頁 (18)
第93号 8月頃発行	8月27日発行、8月30日配布	30頁 (30)
第94号 11月頃発行	11月18日発行、11月22日配布	36頁 (32)
第95号 2月頃発行	2月17日発行、2月21日配布予定	26頁 (14)

内容的には、会長巻頭言、慶事、大会結果、審査結果、大会参加者のコメント、講習会模様、各協会長のひとこと、大学主将のひとこと、弓道教室の感想文、常任理事の投稿文、等の投稿を頂きました。常任理事各位に事前チェック、理事各位に製本のご協力頂きました。

2、全弓連機関紙「弓道」ちれん発インフォメーション原稿の編集・投稿(100%完了)

現時点、1月末投稿の3月号まで、毎月月末〆切で、計画通り滞りなく投稿完了

内容的には、大会結果、講習会模様が中心でした。常任理事各位に事前チェック頂きました。

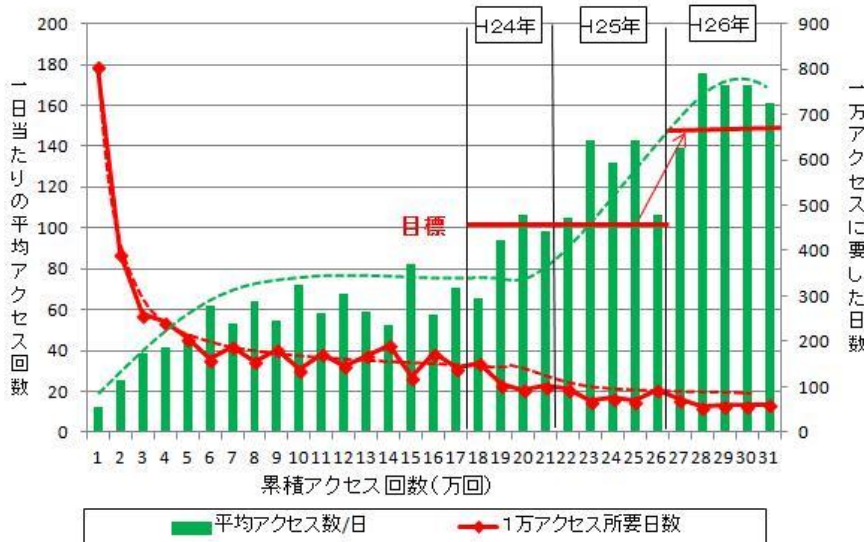
3、県連ホームページ(100%完了)・・・アクセス数は順調

・目標：150アクセス/日以上を目指し、アンケート結果を踏まえて、更新件数の維持向上を図る。
 ⇒今年度前半にかけてホームページ、弓道石川に関するアンケート実施(今年度のアンケート結果に基づく各種実施状況は次ページ) ⇒160アクセス/日を達成。

取組状況はHP広報部のページに逐次アップしてきました。

・全国の弓道連盟では昨年より更に減少し、現在20連盟のHPがあり、アクセス数は分かりませんが、平成26年(1月～12月)の更新数上位は①石川県 348 ②熊本県 128 ③長野県 115 ④秋田県 100 ⑤新潟県 94 ⑥埼玉県 84 と2位の熊本県の3倍近い更新数です。自然体では、H23年以前の石川県もそうだったように、100回前後にしかならない。企画型の取組等をしていかないとこれだけの更新数は確保できないと考えている。

石弓連ホームページアクセス数の推移



4、広報部員の拡大(3名入部・1名退部=2名増員)

広報部は入部希望の少ない部として次の3項目を継続実施し、3名の入部、実質2名の増員となり、HP関係の育成期間を一年間として、来年度から本格的に参画することとなっている。

- ① 広報部=何か記事を書かなければならないというイメージ(これが最大)の払拭
- ② HPを作るスキルがないから無理・・・一年の育成期間で、確実にスキル付与。
- ③ 広報部では、弓道そのものが上手になるわけではない・・・弓道研修会の実施、今年度は普通では見られない角度からの動画撮影も実施し、好評のうちに終了した。

○HPに関する現在までの実施状況

- ・完了… 13件(50%)(うち3件は内容充実等継続)
- ・見送り… 2件(8%)
- ・継続… 11件(42%)
- ・合計… 26件(100%)

○「弓道石川」に関する現在までの実施状況

- ・完了… 4件(57%)
- ・見送り… 1件(14%)
- ・継続… 2件(29%)
- ・合計… 7件(100%)

今後とも、見送り・完了事項を除き、理事会で継続的に実施状況を報告していきます。

1、 HPの見やすさ

- ① メニューボタンが多い:サブメニュー方式を採用し、変更前29個⇒23個に減少。完了
- ② 日程のバックが見えにくくしている(梅):梅鉢紋とバックの色の明度差を少なくした。完了
- ③ 年数が経ってきたのでスッキリできるところはした方がよい:審査・講習会等のページは大会のページに準じて表形式にした。新着情報からのリンクを全弓連に準拠した形(直接記事に行くのではなく、目次に行くよう)にした。完了、また指摘・提案があれば実施する。
- ④ 新弓道競技規則、弓道競技大会運営(全弓連)を掲載下さい:大会ページにアップ。完了
- ⑤ 県外の審査(連合審査等)を含め審査結果のアップ遅い:①合格者本人が、木下理事長へ合格の報告(従来よりお願いしている)をお願いします。②原則、当該審査の主催者から県連への結果通知を待って、HPに公開しているの、遅れる場合がある。情報入手次第速やかに更新している。完了
- ⑥ 大会結果が遅い時もある:情報提供が遅い場合大会結果アップ担当が催促する。継続
- ⑦ 最近、特に他県での審査案内(特に連合審査)の公開が遅いと感じている。他県のHPや知人からの情報の方が早く、申込期限ぎりぎりになることもしばしば見受けられるので早急に対応願う:連合審査の場合は、北信越内での受審を原則周知している。県連事務局に全国の審査情報が送られてくることはありません。送られてきたものは速やかにHPに載せると同時に各協会連絡員に通知しているが、原則、他地域情報は、受審者の方が、ご自分で調べて頂くことでお願いします。(事務局)完了
- ⑧ 弓道教室の広報的充実が会員拡大の一端を担うのではないかと。具体案はないが:今年度も8協会(昨年9協会)の教室案内をアップ。トップページからリンク。また、ヤフー等の検索ページの石弓連の所には「弓道教室もやっています」と表示されるように設定済。更に弓道教室主催5協会からの弓道教室模様の報告(写真等)、受講生の感想文掲載。継続
- ⑨ 能登地域の神事:各協会が関連している場合は、写真と簡単な説明記事を情報提供頂きたい。川端先生から過去に調査した情報を可能な範囲で、投稿の検討をお願いすることとなった。継続
- ⑩ 大学生・高校生・中学生向けの内容も他県に比して充実していると思う。これを更に内容を充実すれば卒業した後の継続につながるだろうか。(4項③関連):大学の「部活の紹介」、「主将等のひとこと」、「全国大会出場感想」掲載中、高校・中学は殆ど投稿はない。高校・中学は中々難しいようですが、継続依頼していきます。学生の全国大会出場に限らず、県連から激励金が支給された場合は、引き続き大会報告&感想の提出をお願いします。継続
- ⑪ 全弓連や弓道協会ですら問題になっているトピックスも掲載して欲しい。弓道界は何となく閉鎖的に思えるので。:全弓連・県連の情報は下記⑫参照。協会から問題になっていると云う案件ではありませんが、トピックスは従来から投稿頂いています。多くの協会でも投稿をお願いします。継続
- ⑫ 大会結果に的中状況も載せられれば、より大会の状況が分かり面白いし、参考になる:見送り
- ⑬ パスワードを利用して、会員専用ページを設けてはどうか:9月より開設。完了⇒内容充実継続
- ⑭ 石川県(加賀藩)の弓道の歴史に関する諸々の事を掲載するコーナーの設置:会員専用ページに、コーナー設置。完了⇒投稿待ち継続
- ⑮ 県連事務局だよりのあり方:県連の諸会議(常任理事会・理事会・評議員会)の議事録(簡易要約版)の掲載、事務局から連絡員への案内(大会・審査・講習等除く)を掲載7月から開始。全弓連からの各種

通知で重要な案件、北信越五県の案内などのコーナーを設置・完了

- ⑯ 弓道を習いたい人、見学したい人、道場の場所を知りたい人への案内コーナーの設置、ワンストップサービスで、ここに各種情報を集約して欲しい: 弓道入門コーナーとして集約。完了⇒内容充実継続
- ⑰ 県連行事を事前(及び事後に)マスコミへ情報提供: 副理事長が継続実施中。完了
- ⑱ 指導員養成講習会で提供した資料編、各種講習会での参考となる事など水橋個人として蓄積している弓道関連のアレコレを掲載するコーナーを設けて頂けないか。 コーナー設置済⇒提供待ち。継続

2、投稿のページに関して

- ① 教士の先生方の弓道に対する思い等興味がある。: 会員専用ページと「弓道石川」にだけ載せることで11月から、リレー形式にて、毎月一人書くことに決まりました。継続
- ② 審査を見ていた人の投稿があっても面白いのでは=試合・審査の観戦記的なものの投稿: 見送り
- ③ 中学・高校・大学の投稿が少ないように思う: 1項⑩を参照。継続
- ④ 講習会での講師の講評・裏話等、体配等で変更があった点等。: 伝達講習会報告を弓道石川に掲載。他の講習会・研修会も「弓道石川」に投稿頂いて掲載。今後、会員専用ページにも載せる方向とします。引き続き講習会報告をお願いします。継続
- ⑤ 目標推移⇒称号者数は少しハードルが高いか?: 3月の評議員会迄に執行部で検討。決定後完了

3、動画の掲載について

- ① 著作権の問題があるのではないのでしょうか?: 県連で撮影すれば問題ない。完了
- ② 本人・保護者の了承が必要な具体案種々提案がありましたが、○全国大会優勝者の大会における動画○全国大会で石川県選手が活躍する姿○全国大会等で入賞した時の表彰式の様子、は選手、監督等以外の方が撮影し、提供頂ければ本人了承を得て掲載する。継続
- ③ 高校生または大学生に協力してもらい、動画を撮り掲載できないか
○講習会での指導ポイントを動画化○審査の間合いの動画等、低段者の参考になる動画○審査に向けた体配のお手本○矢渡・介添えの所作○持的射礼等の体配のポイント射○射法・射技の動画 等⇒過去に県連で作成したビデオ教材の現行化をする方向で何年かのスパンで指導部を中心に検討する方向。継続

4、機関誌「弓道石川」に関する事項

「弓道石川」はよく読んで頂いており、現状の形で良いとのアンケート結果ですので、このまま進めます。

- ① 小さな大会結果は不要と思います。: 編集者に一任:完了(紙面の都合もあるが、できるだけ載せたい)
- ② 協会の総会資料作成に「弓道石川」の大会結果を活用しているので、大いに役立っています。しかし、会員全員の部数作成は不要と思います。: 会員登録時期に事務局で必要部数の再調査を実施する。実施後完了
- ③ 基本的に現状のままで良いと思うが、紙でしかできない事があると、より良いと思う。
以前の黒川さんの投稿の様な連載の読み物とかはどうか。黒川は編集人のため遠慮。過去の黒川、杉村さんの投稿の一部を会員専用ページに掲載中⇒過去の弓道石川データの提供待ち。継続
- ④ 例えば、使用していない弓具リサイクル的な物(新聞にあるような「欲しい物」「不要になった物」の掲載とか: 見送り
- ⑤ 協会の毎年1月の総会資料を作成し、大会成績を掲載していますので大会結果が大いに役立っています。しかし、25部弓道場に置いてありますが、持っていく人が少なく、毎年部数を減らしています。現在スマホを持っている人は何時でも県連のHPを見られますので、「弓道石川」をHPに載せれば不要と思います: ネット環境をもっていない会員もいるので、完全になくするのは難しい。編集は継続⇒HPパスワードページにアップを検討し、HPにアップした後、の配布部数調査時に反映させて頂きます。:完了
- ⑥ 当面現状のままで良いと思いますが、本学(学院大)の場合は弓道場の記録机の上にいつも置いています。休憩時間などにちょっと簡便に読むのにとても有難いです。無理な注文かも知れませんが、テーマを決めた研究・考察もいいのではないかと思います。我々の様なレベルでは結構誤解している部分も多いので。: 早期には難しい。まずはホームページでパスワードページを設定して、その中で要望に応えるページの様なものができるか、少し時間をかけ、様子を見ながら検討する方向とします。継続
- ⑦ 会員への周知をどこまで徹底しているのかが疑問です。そのあたりも確認できれば。
・・・弓道石川の配布を徹底しているのかとの疑問でしょうか?協会でも弓道場に置いて、来た人が1部持ち帰るといふところが多いと思うのですが、この点は協会のやり方でお任せすることとします。完了

平成27年度事業計画 広報部

1、「弓道石川」の発行

- ・第96号から99号を 5月、8月、11月、2月に、より充実して発行する。
 - ・昨年のアンケート結果を踏まえ、一層の充実を図る。尚、発行月は、理事会開催月とする。
 - ・発行前に常任理事の事前チェック後、印刷は事務局、製本は理事のご協力を得て発行する。
- なお、昨年のアンケートでご指摘のあった、HP会員専用ページに「弓道石川」掲載を開始したことで、発行部数を見直すべきとのご意見は、次年度会員登録時に各協会へ必要部数の調査を事務局の方から実施し、5月発行以降、部数削減し、経費&稼働削減の方向といたします。

2、全日本弓道連盟「弓道」誌、ちれん発インフォメーション原稿の編集・投稿

- ・毎月末に、県内の主要な大会・講習会を軸に、投稿記事を織り交ぜながら、投稿する
- ・常任理事による事前チェック後、投稿する

3、県連ホームページ

- ・昨年のアンケート結果を踏まえた改善事項を実行して、昨年の目標の150アクセス/日を維持しつつ、更に180アクセス/日の向上を図る。

4、広報部員の拡大・広報部会の充実

昨年の2名増メンバーも1年のHP作成育成期間でスキルアップできたので、アップロード業務に本格的に携わって頂きます。また、更新数の増加に伴い、更に若干名メンバーを増やしていきたい。広報部員相互の弓道研修会を2年連続実施し、好評だったので継続し、より魅力ある広報部にしたい。HP作成関係は、やり始めると中々面白いので、今はやったことがなくても、自宅にネット環境がある方は、是非参画してください。部会も2回以上開催し、楽しくやりたいと思っています。

5、投稿のご協力をお願い

『弓道石川』、HPへの投稿は、昨年に引き続き次の様な事をお願いします。これらが充実してくると、県連の目標である会員増に必ずつながってくると思いますので、何卒ご協力お願いします。

- ① 役員等の抱負や弓道に対する想い
 - ② 支部・協会の紹介・会長のひとこと
 - ③ 弓道教室受講生の感想
 - ④ 各大学・高校・中学弓道部の紹介、主将の抱負
- 詳細な依頼、ひな型等はホームページの広報部のページにアップしています。

また、全弓連の「改革大綱」7、広報（イ）には、「地連・地連支部におけるHP開設の義務化」等広報活動の強化が記載されております。

- ・各協会の紹介会長のひとこと
- ・各支部協会の紹介の記事の投稿を、全協会ですべてアップし、各協会HP開設に準ずる活動としたい。
- ・各協会内の活動状況を、簡単なメモと写真等でも構いませんので逐次お願いできれば完璧です。

◇ 投稿時のメールアドレス

投稿の際のメールアドレスは、個人宛てのメールでは、広報部内で情報共有して、作業分担が効率的にできないので、必ず次のメーリングリスト宛てでお願いいたします。

ishikawaken-kyudorenmei-kouhou@kyudo-ishikawa.com

以上